

「夢のサバ缶、消滅の危機 を救った女子高校生」

おすすめしたいわけ

・なぜこの本をおすすめしたいかというと、最初のページに宇宙食についてのフイズがあり、どれだけの自分が宇宙食のことが分かるか、しれることがおすすめしたいわけですよ。

・また、開発したサバ缶を実際に宇宙飛行士が食べ、その感想や実際や、た小坂さんの気持ちとかも書いていたのて、そこもいいと思いました。

「宇宙食になったサバ缶」 別冊 芳子 小坂 康之
小学館

「青街道と 宇宙スレーショルどめせ！」

このスレーガンをおおに活動した14年間の
物語

宇宙へはたかへる者 小坂康之 出版
小学館
④

宇宙食サバ缶

は。

生徒の一言から

始また!

「宇宙食になたサバ缶」

小坂 康之 別司 若子 小学館

— 紹介文 —

「あの小浜水産高校の小さな食品せいぞう室から、宇宙食サバ缶がたん生るとは、

だれもそうぞろしていなかったらう、

高校

何かにチャレンジする時に
オスス!

宇宙食サバ生への対決は、
生徒一ヶら女台まち!

宇宙飛行士・野口聡一さんが食べたサバ缶。
しかし、それが作れるまでの十四年間で、
課題はぶっかたりしてもまだある。
先生、生徒たちの物語です。

宇宙食とあち
サバ生

出版友小籠宮 作小坂康之・別奇 子

目標を持つ人にオススメ!

宇宙食になったサバ缶

— オススメ POINT —

① 小学生にも読みやすい!
(小学5-6年生~)

② 先生と生徒の絆!
宇宙サバ缶ができるまでに
どんなことが
あったんだろう...

③ 変化を乗り越えて...

著: ^{こさか やすき} 小坂 康之

^{べっし よしこ} 別司 芳子

← このお話に出る
生徒たちの先生!

出版社: 小学館

宇宙食をつくった高校の
14年間の物語

宇宙食になったサバ缶

小坂康之 別司芳子 小学館

2020年に宇宙へ飛び去った、宇宙食
のサバ缶。これをつくったのは、福
井県のある高校だった。



ダチョウは 脳みそが目玉より小さい

『ざんねんな
いきもの事典』 今泉 忠明 監修

この本は、動物のざんねんなところがたくさん書いてある本です。
表紙はちょっと地味にだけ読んで見たら、「どうしてそうなの？」
と、びっくりするような生き物のことが書いてあり面白い。
動物が好きな人におすすめです！

パンダが一日中

食べ続けている
ササの葉には、
じつはほとんど
栄養がない！

コアラはユーカリ

にふくまれる

猛毒のせいで

一日中寝て
いる。

ダツは光が
好きすぎて、
夜になると、
月台に飛びこむ。